



# 確かな学力の育成

□指導の重点  
・実践例

歳	特性	家庭	園・学校	地域
0歳～3歳	信頼・自律性	<b>信頼関係づくり</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>スキンシップで親子関係を深める（抱っこ、おんぶ、添い寝、語りかけ）</li> <li>基本的な生活習慣づくり（トイレ、歯磨き、着替え）</li> </ul> <b>自主的な動きづくり</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>自発的な行動を大切にし、よい行いを奨励する</li> </ul>	<b>ひとり遊び</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>安心して遊び、生活できるようにする</li> <li>安全な遊びの環境を整え、じっくり遊ばせる</li> </ul> <b>幼児期後期への緩やかな接続</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>ひとり遊びから集団遊びへの発展、遊具などでの様々な遊び、自発的な遊びを促す</li> </ul>	<b>地域みんなで育てる</b> （出産を祝い、育児支援） <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の伝統行事で祝う</li> <li>温かい声かけで見守る</li> </ul>
4歳～6歳	自律性・自主性	<b>発達に応じた多様な遊び</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>ふれあい、じゃれつき、読み聞かせ</li> </ul> <b>保護者会への積極的な参加</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>保護者会に参加し成長を確かめる</li> <li>「早寝早起きおいしい朝ごはん」の習慣化</li> <li>メディアとの付き合い方、家庭の約束</li> </ul>	<b>テーマを設定した遊び</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>自発的な遊びからの学びを引き出す</li> <li>発達に応じた多様な集団遊びを設定する</li> </ul> <b>小学校への接続</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>話を聞く、時間を決めて動く</li> <li>身の回りのことは自分でする</li> </ul>	<b>地域みんなで育てる</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の公園の整備</li> <li>ゲストティーチャーとして支援</li> <li>地域の行事への招待</li> <li>昔ながらの遊びで遊ぶ</li> </ul>
7歳～9歳	勤勉性（前期）	<b>小学校生活への適応</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りのことができ、忘れ物をしないように促す</li> <li>家庭の一員としての手伝い</li> </ul> <b>学校生活の充実</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>決めた時間や場所での宿題や読書、自主学習の定着</li> <li>次の日の学習準備が自分でできるように促す</li> </ul>	<b>小学校生活への適応</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>時間を守り仲間と共に生活できるようにする</li> <li>発見する喜びや、できるようになった喜びを体験させる</li> </ul> <b>学習習慣づくり</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>加減乗除、漢字の定着</li> <li>興味関心や知的好奇心を育む</li> <li>自分の考えを伝えたり仲間の考えを聞いたりする</li> </ul>	<b>地域みんなで育てる</b> （学校の教育活動を支援） <ul style="list-style-type: none"> <li>生活科や総合的な学習の時間などの授業に協力する</li> <li>糸魚川ユネスコ世界ジオパークに愛着をもてるように子どもと一緒に取り組む</li> <li>糸魚川には多くの偉人や温かい地域の人がいることを知り、生き方に生かそうとする姿勢を育てる</li> </ul>
10歳～12歳	勤勉性（後期）	<b>学校生活の充実</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>電子メディアのルールづくりを支援する</li> <li>家庭学習時間「学年×10分以上」</li> </ul> <b>中学校生活への準備</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>将来の仕事や進路を話しあう</li> <li>中学校での目標をもたせる</li> </ul>	<b>学習習慣づくり</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>各教科の基礎基本の学習を身に付けさせる</li> <li>教科書を滑らかに読めるよう指導</li> <li>伝え、話しあい、深める授業を行う</li> </ul> <b>中学校への接続</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>将来の夢や中学校での目標</li> <li>他校の児童生徒とふれあう</li> </ul>	<b>地域みんなで育てる</b> （学校の教育活動を支援） <ul style="list-style-type: none"> <li>行事、地域学習で交流</li> <li>ゲストティーチャーとして支援</li> <li>地域の大人から知恵や技能、思いを感得させる</li> </ul>
13歳～15歳	同一性（前期）	<b>中学校生活の充実</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>家庭学習時間「(6+学年)×10分以上」</li> <li>電子メディアのルールづくりを支援する</li> </ul> <b>夢や目標に向かう意欲付けと励まし</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>家族で地域行事に参加する</li> <li>家族で夢や目標を話しあう</li> </ul>	<b>課題解決に向けた学びの場づくり</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>考えをもち、ねらいにあった意見が言えるようにする</li> <li>ICTを効果的に活用する</li> </ul> <b>学習習慣づくり</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>家庭学習時間「(6+学年)×10分以上」</li> <li>夢の実現に向けた取組を促す</li> </ul>	<b>地域みんなで育てる</b> （学校の教育活動を支援） <ul style="list-style-type: none"> <li>行事、地域学習で交流</li> <li>ゲストティーチャーとして支援</li> <li>地域の大人から知恵や技能、思いを感得させる</li> </ul>
16歳～18歳	同一性（後期）	<b>社会人としての自覚の育成</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>マナーや礼儀をわきまえ、社会人としての自覚をもたせる</li> </ul> <b>夢や目標に向かう意欲付けと励まし</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>文化・環境資源について話しあう</li> <li>将来について語りあい、自分の「生き方」を考えさせる</li> </ul>	<b>高校への適応、学力養成</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>環境問題などについて、主体的に探求する態度を育む</li> </ul> <b>学習習慣づくり</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>「学年+1時間」の自主学習</li> </ul> <b>社会性の育成</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>集団の中で役割や責任をもたせる</li> </ul>	<b>地域みんなで育てる</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域での活動をとおして大人から生き方を学ばせる</li> <li>ジオパーク学習や地域行事によりふるさとへの愛着を育てる</li> <li>地域づくりの協働の場を設ける</li> </ul>



# キャリア教育

・実践例

郷 郷土愛   か かかわる力   み みつめる力  
 や やりぬく力   夢 夢を起こす力

歳	特性	家庭	地域	園・学校
0歳～3歳	信頼・自立性	<b>郷</b> ・子どもと地域を散策し、糸魚川に浸る <b>か</b> ・子どもに話しかけ、会話する <b>み</b> <b>や</b> ・子どもと会話し、ほめる <b>夢</b>	・地域活動に参加する ・スキンシップをとる（愛着形成） ・自分で最後までやらせる ・本を読み聞かせる	・食事中はメディアから離れる
4歳～6歳	自立性・自主性	<b>郷</b> ・子どもと地域を散策し、糸魚川に浸り、愛着をもたせる <b>か</b> ・子どもと親子、友だち、地域の人とのふれあい <b>み</b> ・集団行動をさせる <b>や</b> ・集団の中での競争から、努力の大切さを経験させる ・あきらめない心を育てる <b>夢</b> ・子どもが興味をもつものに共感する	・約束を守らせる ・子どもをほめる ・自分で最後までやらせる	・食事中はメディアから離れる ・集団行動のルール
7歳～9歳	勤勉性（前期）	<b>郷</b> ・人や場所にかかわりをもたせ、地域を好きにさせる <b>か</b> ・様々な機会に、子どもたちに声をかける ・気持ちを話させ、よく聞く ・家庭での役割を果たさせる <b>み</b> ・子どもとの対話の中でほめ、自己肯定感を高める <b>や</b> ・家庭や地域での役割を決め、挑戦させる ・難しいことに挑戦し、最後までがんばろうとしたことをほめる <b>夢</b> ・親としての生き方や仕事のやりがいについて語りかける		<b>郷</b> ・地域の好きなところ、よいところに気付かせる <b>か</b> ・仲間と協力させる <b>み</b> ・自分のよさや得意なところに気付かせる <b>や</b> ・任された活動を忘れずにやらせる <b>夢</b> ・社会のたくさんの仕事を知らせる
10歳～12歳	勤勉性（後期）			<b>郷</b> ・地域の自然や人に愛着をもたせる <b>か</b> ・意見を聞き、仲間と協調して考える <b>み</b> ・やりたいこと向いていることを選ばせる <b>や</b> ・任された活動に責任をもって取り組ませる <b>夢</b> ・仕事や人と出会う機会をつくる
13歳～15歳	同一性（前期）	<b>郷</b> ・行事や祭りに参加・体験させる ・イベントなどへ参画させる <b>か</b> ・子どもに家庭外でのマナーを身に付けさせる ・行事での役割を与え、指導や声かけをする <b>み</b> ・家庭で手伝いをさせ、家族で語りあう ・行事で役割を与える <b>や</b> ・家族の働く姿を見せ、将来について語りあう ・職場見学、職場体験に協力する <b>夢</b> ・子どもの将来について話しあう ・職場体験に協力し、職業人としての思いを語る		<b>郷</b> ・ジオパーク学習や地域貢献活動で、ふるさとを知り、文化・伝統を体験させる <b>か</b> ・異なる意見を受け入れながら、自分の考えをしっかりと伝えさせる <b>み</b> ・自分を知り、自分を大切に育てる <b>や</b> ・学級活動、生徒会活動、部活動、職場体験などへの積極的な参加を促す <b>夢</b> ・職業人としての将来を考えさせる
16歳～18歳	同一性（後期）	<b>郷</b> ・行事や祭りに参加・体験させる ・イベントなどへ参画させる <b>か</b> ・子どもの家庭外でのマナーを身に付けさせる ・行事での役割を与え、指導や声かけをする <b>み</b> ・子どもの現状をつかむために、保護者面談に積極的に参加する ・地域の子どもと進んで交流する <b>や</b> ・家族の働く姿を見せ、将来について語りあう ・就業を視野に入れた職業体験、インターンシップへの協力 <b>夢</b> ・具体的な進路に向けた話しあいを充実させる ・職場体験に協力し、職業人としての思いを語る		<b>郷</b> ・ふるさとの産業の特性を理解し、地域に貢献できることを考える。 <b>か</b> ・他者の意見を理解し、自分の考えを伝えさせる <b>み</b> ・自分の特徴を知り、自分や他者を大切に育てる <b>や</b> ・学級活動、生徒会活動、部活動、職場体験などへの積極的な参加を促す <b>夢</b> ・将来の夢をもたせ、自分の一生について展望させる ・実践場面で活用できる英語力の育成



# ジオパーク学習

□指導の重点  
・実践例

歳	特性	家 庭	園・学校	地 域
0歳～乳幼児～小学校前期～8歳	地元ジオエリア体験期	<b>四季の自然や動植物と親しむ</b> <b>親子一緒に行動する</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>親子で海や川、山に親しむ</li> <li>ジオ体験活動へ参加する</li> <li>親子で草花や石で遊ぶ</li> </ul>	<b>自然の生き物や植物への興味・関心の喚起</b> <b>保育士・教諭と一緒に学ぶ</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>動植物に親しみ、季節を感ずるのびのび楽しませる</li> <li>子どもの親しみやすいところから、関心を広げさせる(海、石、草花、生き物など)</li> <li>草花や石を遊びや教育活動などに取り入れ、ふるさと糸魚川への愛着を育む</li> </ul>	<b>園への協力</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>情報提供をしよう</li> <li>地元ジオエリアの生き物や草花に親しませる</li> </ul>
		<b>四季の自然や動植物と親しむ</b> <b>家族で地元ジオエリアを訪ねる</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>ジオエリアを家族で訪ねる</li> <li>親子でジオパーク巡りに参加する</li> </ul>	<b>興味・関心からの自然へのかかわり</b> <b>行動範囲の広がり仲間づくり</b> <p>1年【生活】「あそびにこころよ」 2年【生活】「まちたんけん」「あの人に会いたいな」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自然体験発表会などでの発表</li> </ul>	<b>学校のニーズの把握と情報交換</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>地元ジオエリアでの生き物や見どころスポット紹介</li> <li>安全面、見学・観察マナー指導</li> </ul>
9歳～10歳	ジオエリア探索期	<b>家族で楽しむジオパーク</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>ジオパークを巡り、地域や学校のジオパーク学習に積極的に参加する</li> <li>親子でジオパークを話題にする</li> <li>親子でジオパーク検定に挑戦する</li> </ul>	<b>自ら環境へかかわる子どもへの支援</b> <b>知的好奇心の喚起と相手意識を明確にした発信</b> <p>3年【理科】「植物を育てよう」ほか 【社会】「わたしたちのまちと市」ほか 【総合】地元ジオエリア探索</p> <p>4年【理科】「あたたかくなると」ほか 【社会】「自然災害にそなえるまちづくり」(防災教育)ほか 【総合】地元ジオエリア探索、糸魚川ユネスコ世界ジオパーク学習交流会への参加</p>	<b>学校のニーズの把握と情報交換</b> (学習活動への支援) <ul style="list-style-type: none"> <li>現地ガイド</li> <li>ゲストティーチャーとしての講話</li> <li>現地での見学への支援</li> </ul>
		<b>ジオパーク学習への関心と自主的な地域参加への支援</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校行事へ参加・協力</li> <li>ジオパーク巡りに参加する</li> <li>ボランティア体験を奨励する</li> <li>親子でジオパーク検定に挑戦する</li> </ul>	<b>自ら環境へかかわる子どもへの支援</b> <b>ジオパークにかかわる人々への思いの深まりと発信</b> <p>5年【理科】「流れる水の働き」ほか 【社会】「国土の自然とともに生きる」ほか 【総合】「祭りの調査・発信」ほか</p> <p>6年【理科】「大地のつくり」ほか 【社会】「世界の中の日本」ほか 【外国語】「わたしの住むジオエリアの紹介」 【総合】「地域で働く人々の取材」、SDGsカードゲームほか</p>	<b>情報提供、企業との連携</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>ジオパーク学習への支援</li> <li>現地ガイド</li> <li>ゲストティーチャー</li> <li>探究活動への助言</li> <li>発表の場の提供</li> <li>ジオパーク認定地との交流活動(情報発信やPR活動)</li> </ul>
13歳～15歳	ジオパーク研究期	<b>ジオパーク学習への関心と自主的な地域参加への支援</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校行事へ参加・協力</li> <li>ジオパーク巡りに参加する</li> <li>ボランティア体験を奨励する</li> <li>親子でジオパーク検定に挑戦する</li> </ul>	<b>ジオパーク・社会や自然を学ぶ子どもへの支援</b> <b>ジオパークについての主張の形成</b> <p>【社会】2年「身近な地域」「日本の地形」 3年「地方自治ウォッチング」 【理科】1年「植物の生活と種類」「変成岩とヒスイの生成過程」 2年「動物の生活と生物の変遷」 3年「自然と人間」 【総合】【外国語】・ジオパークを英文で紹介 ・ジオパーク交流会 ・中学生海外派遣研修</p>	<b>情報提供、企業との連携</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>ジオパーク学習への支援</li> <li>現地ガイド</li> <li>ゲストティーチャー</li> <li>探究活動への助言</li> <li>発表の場の提供</li> <li>ジオパーク認定地との交流活動(情報発信やPR活動)</li> </ul>
16歳～18歳		<b>高等学校【教科、科目、部活動】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>ジオを活用した地域づくり、交流活動の推進</li> <li>糸魚川：SDGsを始めとする地域課題の探究活動</li> <li>白 嶺：まちづくりと防災にかかわる探究活動</li> <li>海 洋：水産資源管理、製造・販売などの探究活動</li> </ul>		



# 特別支援教育

□指導の重点  
・実践例

歳	家 庭	園・学校	地 域
0歳～幼・保	<b>愛着形成</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スキンシップを大切に</li> <li>・読み聞かせ、語りかけ</li> <li>・人のかかわりから心をつくり、メディア接触時間を減らす</li> <li>・ふれあい遊び</li> <li>・「早寝早起きおいしい朝ごはん」</li> <li>・バランスのとれた食事</li> </ul>	<b>愛着形成</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者への助言とサポート</li> <li>・遊びをとおした友達や家族・職員とのかかわり方の支援と社会性の育成</li> <li>・生活リズムの定着の働きかけ</li> <li>・給食をとおした食習慣の形成</li> <li>・運動遊びをとおした体づくり</li> </ul>	<b>&lt;地域&gt;</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障がいの正しい理解と、障がいのある子と保護者を温かく見守る地域づくり</li> <li>・遊び場の整備</li> <li>・支えあう地域づくり</li> </ul> <b>&lt;関係機関&gt;</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障がいの早期発見と早期対応</li> </ul>
幼・保↓小学校	<b>愛着形成と障がいの気付き</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特性の理解と適切な対応</li> <li>・ほめて育てる</li> <li>・「早寝早起きおいしい朝ごはん」</li> <li>・バランスのとれた食事</li> <li>・人のかかわりから心をつくり、メディア接触時間を減らす</li> <li>・ふれあい遊び、運動遊び</li> <li>・特性を理解し、就学先をみんなで考える</li> </ul>	<b>愛着形成と障がいの気付き</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい理解に向け、学校、医療、福祉が連携した啓発活動</li> <li>・子どもの特性理解の研修を設定</li> <li>・友だち・職員・家族とのかかわり方支援</li> <li>・ペアレントトレーニングへの参加推奨</li> <li>・体験入学と交流の推進</li> <li>・生活リズムの定着の働きかけ</li> <li>・給食をとおした食習慣の形成</li> <li>・運動遊びをとおした体づくり</li> </ul>	<b>&lt;地域&gt;</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障がいの正しい理解と、障がいのある子と保護者を温かく見守る地域づくり</li> <li>・遊び場の整備</li> <li>・支えあう地域づくり</li> </ul> <b>&lt;関係機関&gt;</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障がいの早期発見と早期対応</li> <li>・健診による気付き</li> <li>・情報提供と支援ファイルの継続活用</li> <li>・発達相談、療育相談、めだか園の周知や連携・協力</li> </ul>
小学校↓中学校	<b>愛着形成と生活能力の育成</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ほめて育て、自信を醸成</li> <li>・会話を大切にし、寄り添う</li> <li>・日常生活スキルの育成と定着</li> <li>・社会のルールやマナーの育成</li> <li>・望ましい食習慣の確立</li> <li>・生活リズムを整える</li> <li>・体の発達について語りかける</li> </ul>	<b>愛着形成と生活能力の育成</b> <b>自己肯定感と生活能力の向上</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個の特性を踏まえた学習指導</li> <li>・個別最適な教育支援ツールの活用</li> <li>・他者とのかかわりの中での協働的な学びの支援</li> <li>・自己肯定感を高める取組や支援</li> <li>・健康維持（食事、生活、体力向上、疾病予防）への知識・態度の育成</li> <li>・成長期、第二次性徴への性教育</li> <li>・自分に適したストレス対処法の習得支援</li> <li>・学級担任から教科担任への移行支援</li> <li>・学校、職場見学をとおした計画的な進路指導</li> <li>・指導計画・支援計画を生かした保護者連携と中学校・関係機関への引継ぎ</li> <li>・医療機関への情報提供や同行受診</li> </ul>	<b>&lt;地域&gt;</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障がいの正しい理解と、障がいのある子と保護者を温かく見守る地域づくり</li> <li>・遊び場の整備</li> <li>・支えあう地域づくり</li> </ul> <b>&lt;関係機関&gt;</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障がいの早期発見と早期対応</li> <li>・健診による気付き</li> <li>・情報提供と支援ファイルの継続活用</li> <li>・発達相談、療育相談、めだか園の周知や連携・協力</li> </ul>
中学校↓高校	<b>自己肯定感と生活能力の向上</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・役割を与え達成感を育成</li> <li>・情緒安定、ストレス対処への余暇活動の充実</li> <li>・日常生活スキルの向上と定着</li> <li>・社会のルールやマナーの向上</li> <li>・第二次性徴に対応した自己管理能力を育成する</li> </ul>	<b>自己肯定感と生活能力の向上</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己肯定感を高める取組や支援</li> <li>・健康維持（食事、生活、体力向上、疾病予防）への知識・態度の育成</li> <li>・成長期、第二次性徴への性教育</li> <li>・自分に適したストレス対処法の習得支援</li> <li>・学級担任から教科担任への移行支援</li> <li>・学校、職場見学をとおした計画的な進路指導</li> <li>・指導計画・支援計画を生かした保護者連携と中学校・関係機関への引継ぎ</li> <li>・医療機関への情報提供や同行受診</li> </ul>	<b>&lt;地域&gt;</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障がいの正しい理解と、障がいのある子と保護者を温かく見守る地域づくり</li> <li>・遊び場の整備</li> <li>・支えあう地域づくり</li> </ul> <b>&lt;関係機関&gt;</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障がいの早期発見と早期対応</li> <li>・健診による気付き</li> <li>・情報提供と支援ファイルの継続活用</li> <li>・発達相談、療育相談、めだか園の周知や連携・協力</li> </ul>
高校↓卒業・就労	<b>社会的自立への適切な支援</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭、職業生活への目標設定</li> <li>・役割を与え自己肯定感を醸成</li> <li>・情緒安定へ余暇活動の充実</li> <li>・ネット社会への対応支援</li> <li>・社会的自立への生活リズム、食事、健康管理を支援</li> <li>・社会人として、あいさつ、マナー、言葉遣い、身だしなみ、人間関係の習得支援</li> <li>・金銭教育</li> <li>・悩みについて、一緒に考える</li> <li>・福祉サービスの利用支援</li> </ul>	<b>社会的自立への適切な支援</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校全体で、障がい理解の推進</li> <li>・社会的自立へ向け、目標と努力事項の設定</li> <li>・適切なかかわり方や支援の求め方の指導</li> <li>・情報社会への正しい対応を指導</li> <li>・社会人としてのソーシャルスキルや交通機関、公共施設などでのマナーを指導</li> <li>・働く喜びを味わわせる勤労体験と必要な技能習得の支援</li> <li>・卒業生からの助言を聞く機会設定</li> <li>・体力向上や根気を養う運動や取組</li> <li>・生活、疾病予防、性への適切な指導</li> <li>・卒業後、就労先との緊密な情報交換</li> </ul>	<b>&lt;地域&gt;</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者を差別しない地域社会の形成</li> <li>・危機対応時の支援</li> </ul> <b>&lt;関係機関&gt;</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「障害者差別解消法」、「障害者雇用促進法」の理解と雇用促進</li> <li>・共生社会形成への研修や学習会の実施</li> <li>・社会体育、地域行事による社会参加支援</li> <li>・健康相談や悩みを受け止める組織整備</li> </ul>
就労後			

※取組状況を評価し、見直しを図っていきます。（第1回調査：令和8年度、第2回調査：令和12年度）  
評価に関する詳しい情報は、子ども一貫教育基本計画の40～43ページをご覧ください。